観光型MaaS「三浦newcal」の高度化事業（深度化と広域化の推進）

三浦半島を中心に344団体の観光事業者や自治体などが参加し、年間13万人が利用する観光型MaaS「三浦newcal」基盤を高度化し、①**移動・観光以外の生活領域へ機能深度化**と、②**三浦半島以外の京急沿線へのエリア広域化**を同時に目指すことで、観光客や地域住民の外出機会の創出、観光消費の拡大、公共交通へのシフトなど地域経済の活性化を図る。

協議会の構成員	【幹事】京浜急行電鉄(株)、三浦市、ジョルダン(株)、日本テレビ放送網(株)、(株)さどゆめ、(株)京急アドエンタープライズ、newcalファミリー（三浦半島の観光、交通事業者（以下記載）、4市1町、神奈川県など344団体が参加） 【交通事業者】京急電鉄、京急バスグループ、京急タクシーグループ、スバル興業、トライアングル、葉山マリーナ、三浦観光バス、東京湾フェリー	
事業目的	①MaaSを通じた公共交通へのモーダルシフトにつながる行動変容 ②観光、滞在など移動以外のサービスを一元化による地域経済の活性化 ③MaaSによる移動・滞在データ活用を通じたエリアマネジメント推進	
観光分野における課題	<ul style="list-style-type: none"> ● 繁忙期集中による交通渋滞 ● 地域一体での情報発信の不足 ● コンテンツ不足で短い滞在時間 	
事業概要	サービス開始時期	【高度化事業実施】2024年8月～2025年2月 【参考】2021年10月：三浦newcal開始
	事業エリア	神奈川県三浦市、横須賀市、葉山町、逗子市、鎌倉市
	観光サービス	<ul style="list-style-type: none"> ● 【高】地域共通の予約・決済・デジタルチケット基盤の改修 ● マルチモーダル経路検索機能 ● 【高】経路検索、マップ機能の利便性改善 ● 【高】予約機能の高度化 ● 【高】地域動画WEBメディアの開設 ● 【高】広域展開できるスタンプラリー機能の拡充 ● 【高】ユーザフレンドリーなサイトUI、UXの改善
	MaaSシステム	三浦newcal（京急とジョルダンが開発するMaaS基盤を高度化）
	観光以外のサービス	<ul style="list-style-type: none"> ● シェアモビリティ網構築活動(newcalモビリティパッケージ) ● 【高】タクシー配車アプリとのAPI連携 ● 【高】顧客の声（VOC）を集める口コミ/アンケート機能 ● 【高】品川・上大岡WE Bサイト開設（全7エリア化） ● 【高】データ活用、分析基盤の開発
交通機関又は観光施設に係るフリーパス	京急電鉄が提供するおトクなきっぷ（みさきまぐろなきっぷ、よこすか満喫なきっぷ、葉山女子旅なきっぷ、三浦半島まるごとなきっぷ、東京湾フェリーなきっぷ）	

事業イメージ

地域共通の予約・決済・デジタルチケット基盤の改修
経路検索、マップ機能の利便性改善
タクシー配車アプリとのAPI連携
データ活用、分析基盤の開発
地域動画WEBメディアの開設
広域展開できるスタンプラリー機能の拡充
品川・上大岡WE Bサイト開設 (全7エリア化)

評価指標

	2023年度実績	2024年度	2025年度	2026年度
①参加団体数(累計)	344団体	360団体	380団体	400団体
②地域拠点数(累計)	15拠点	20拠点	25拠点	30拠点
③MaaS利用者数(年)	125,000人	130,000人	140,000人	150,000人
③MaaS会員数(累計)	130,000人	150,000人	175,000人	200,000人
④モビリティ拠点数(累計)	92ポート	110ポート	130ポート	150ポート

今後の方向性

- 「リアルとデジタルの一元化」、「観光と生活領域の一元化」、「交通と滞在サービスの一元化」など、沿線広域におけるサービスのシームレスな利用環境を整備し続けることを通じて、MaaSレベル4（社会目標の統合）を達成し、沿線広域での統合されたサービスとしての「EaaS（ENSEN as a Service）」の構築を目指す。